

## レイアウトのための基礎知識

レイアウトを行なう場合、幾つか注意をはらわなければならないポイントがあります。これらの基本的要素を考慮に入れレイアウトすることによって自分の持つイメージをより明確に具体化することが可能となります。これらの要素を基本にしつつも、画一的な表現にならないように自由にレイアウトしてみましょう。

### 視 覚 度

文字以外の写真やイラストなど、絵的な要素が与える視覚的な強さ。  
視覚度が高いと親しみやすい印象になり、反対に視覚度が低く、文章中心になると格調高く、堅い印象になります。  
(一般的には写真はイラストよりも視覚度が低い)

### ジャンプ率

本文 (ほんもん) を基準にして、最も大きなタイトルとの大小比  
雑誌の中吊り広告などはジャンプ率が高い。

### 版 面 率

誌面全体に対してどれくらい印刷されている面積が占めているかの割合です。余白が多いと版面率が低く、少ないと版面率が高い)  
版面率の高いレイアウトは難い、元気、難解な印象を与え、低いレイアウトは、上品、おしゃれ、まのびした感じを与えます。

### グリッド拘束率 (自由度)

仮想的なグリッド線に対して、写真や文字などがどの程度拘束されているか。  
グリッドに正確であるほど「グリッド拘束率」が高いと言う。  
グリッド拘束率が高いと、男性的、理性的な感じになり、低いと、女性的、自由な感じになる。

### 書体から受けるイメージ

ゴシック体は現代的で理性的、明朝体は可読性が高く、穏やか  
太文字は自信、元気、男性的で、細文字は都会的、女性的、優雅さ、繊細さをイメージします。